

ルートプレーニング

『Piezosurgery® の歯周治療への応用』

夏堀デンタルクリニック 八戸ペリオ・インプラントセンター（青森県） 夏堀礼二

昨今、外科用超音波機器を用いた骨外科とりわけインプラントに関わる骨移植や上顎洞挙上術、埋入窩の形成に利用され、回転切削器具に比べ、組織に対し低侵襲で、治癒も良好である事は周知のことである。そのため骨削の必要な埋伏歯、骨癒着歯、根肥大歯等の難抜歯にも応用され、良好な結果が得られている。しかし、低パワーにする事で、歯周治療にも使用出来るので、紹介したいと思う。

今回は、

1. 除石
 2. SRP
 3. FOP 時のルートプレーニング
 4. メインテナンス
- に応用したので、報告する。



当院で使用しているペリオチップ各種
(左から PS1、PS2、IM1、PP10、PP1)



縁上除石には PS1 を用いるがチップの脇腹や先端を歯面に対し垂直にあてないように歯石を除去していく。



SRP 時の縁下歯石の除去には PS2 や PP10 を用いる。



FOP の場合は、PS2 で肉芽の除去、歯石除去を行う。分岐部等の狭い場所には PP10 ～ 12 を部位によって使い分ける。また除石後は IM1 で歯根面のルートプレーニングを行う事で素早く出来る。



メインテナンス時の縁下のディプラーキング。チップは PP10 を使い、特に先端が前装部に触れないよう注意深く行う。

以上のように、Piezosurgery® はそのチップの種類とパワーモードの調整で十分歯周治療にも応用出来る。むしろ、歯周外科中の骨整形、骨採取、歯根分割などは従来の骨外科用チップに交換し、パワーモードを変更する事で、1台2、3役というメリットは大きい。このように適用範囲が広い事で、臨床に大いに活躍出来るであろう。